



カメラリポート
 長門の話題
 9/16

**キッズおもしろ狂言塾
 笑いの芸術を体験**

9月16日、ルネッサながとで「キッズおもしろ狂言塾」が開かれ、約200人が参加しました。この狂言塾は、狂言の世界に触れ、表現することの楽しさを感じてほしいと(財)長門市文化振興財団が主催したもので、この日は26人が舞台上がり、狂言師・深田博治さんの指導のもと、狂言独特の歩き方や唄いなどを体験しました。ワークショップの後には、万作の会による演目「痺」(しびり)も上演され、「笑いの芸術」と呼ばれる狂言の世界に、会場は大きな笑い声で包まれていました。



カメラリポート
 長門の話題
 9/21

**長門市交通安全のつどい
 交通事故のないまちに**

9月21日から30日にかけて実施された秋の全国交通安全運動にあわせて、9月21日、「長門市交通安全のつどい」が長門市中央公民館で開催されました。このつどいは、交通事故のない安全なまちづくりを目的に開催されたもので、この日は関係者ら約350人が参加しました。式では、死亡事故が多発している現状を受けて、松林市長が「交通事故多発非常事態宣言」を発令し、交通事故防止を呼びかけました。また、新しい交通安全アテンダントの紹介や、山口県警察音楽隊による演奏が披露されたほか、交通安全パレードも行われ、飲酒運転根絶と交通事故防止をアピールしました。



カメラリポート
 長門の話題
 9/6

**これからもお元気で
 百歳到達者をお祝い**

敬老の日にあわせて、今年度市内で百歳を迎える19人に、松林市長から「長寿の記念にお祝い状と花束が贈られました。初日となる9月6日には、田中スナさん(東深川田屋区)、上田マツコさん(俵山大羽山区)、藤本モミ子(油谷伊上須方)を訪問しました。田中さんのお宅では、「百歳おめでとうございます。元気で長生きしてください」と話しかけながら、松林市長がスナさんにお祝い状と花束を手渡しました。スナさんは「ありがたい」と満面の笑顔を見せていました。



カメラリポート
 長門の話題
 9/11

**アメリカで心臓移植の阿波宏典君
 ひろくん元気に帰郷**

突発性拘束型心筋症のためアメリカで心臓移植手術を受け成功した阿波宏典君が帰郷したにあわせて、9月11日、市役所玄関前で出迎えセレモニーが行われました。会場には、帰郷した宏典君を出迎えようと「ひろくんを救う会」メンバーなど約200人の市民が集まりました。救う会の陽信孝代表が「多くの人の助けがあったからこそ、今ひろくんの笑顔がある。これからも支えていきたい」とあいさつ。松林市長も「元気なひろくんの姿を見れてうれしい。長門ですくすく成長してほしい」と喜びの言葉を贈りました。また、父秀範さんも「奇跡的に助かった命。この奇跡を起こしてくれた長門のみなさんに感謝します」とお礼を述べました。



カメラリポート
 長門の話題
 9/2

**長門市人権フェスティバル
 人権を考えよう**

人権に関わる問題への理解と認識を深め、人権尊重の生き方を広めていくことを目指して「長門市人権フェスティバル」が9月2日、長門市中央公民館で開催され、約300人が参加しました。会場では、「サザエさん」のマスオさんや「それいけ!アンパンマン」のジャムおじさん役でおなじみの声優・増岡弘さんが「サザエさん一家は幸福みつけの達人ぞろい」と題して講演。また、こどもたちへのメッセージとして、シンガーソングライターのちひろさんのコンサートも行われました。